

日本語語彙特性反応型あなうめテスト作成器JACKETの開発と応用

Development of a Lexical Trait Responsive Cloze Test Creator (JACKET) and its Application

松下達彦（東京大学）、得丸智子（開智国際大学）、劉瑞利（中山大學）、中島明則（フリーランス）

01 開発目的

● 教育への応用

授業への利用

自律学習への応用

テスト作成の
労力節減

● 研究への応用

テスト研究

意味推測の研究

語の産出に働く
要素の研究

Japanese Cloze Key Test (JACKET) 開発

<http://160.16.101.253/test/fibt/>

CLICK

日本語の各種の語彙特性に応じ

あなうめテストを自動的に作成

使ってみてください

02 主な先行研究

● あなうめテスト

- cloze test (Taylor, 1953)、C-test (Klein-Braley & Raatz, 1984): L2能力測定の妥当性、信頼性あり (Aitken, 1977、小川, 1993 など)
- 日本語では文字単位の穴あけのみ、語単位は見当たらない
- cloze test の難易度は文章の難易度以外に、対象語の種類など様々な要素に影響される (長, 2008)

● テスト自動生成システムの開発

- 英語/中国語の語彙知識、多肢選択式問題の自動生成システム (Susanti et al., 2015, Susanti et al., 2017a, b; Liu et al., 2018)
- ウェブ上で収集したデータ、日本語能力試験と類似問題の自動生成 (豊田ほか, 2019)
- 語彙レベル等の設定不可、未公開のものが多い

03 JACKETの開発

先行研究

対象項目の語彙レベル、種類（機能語か内容語か等）が指定できない、妥当性や信頼性への影響が明らかでない

本研究：あなうめテスト自動生成システムの開発
・語彙や文字のデータベースを組み込む
・特定の語彙特性条件を指定できる

04 機能と使用法

1) あなうめ問題を作成する機能

- システムは入力された文章を解析
- 条件を選択する
 - 区切り単位[語/文字/節/文]
 - 語（接辞を含む）の種類を選択
 - 語彙頻度レベル、品詞、語種）等
 - フリガナの有無
 - 穴あけ間隔
 - 句点前後の穴あけ
- 文章中に穴開けをした問題を作成

2) 作成した問題を編集する機能

- 作成済みの問題を手動で編集、保存できる。
- 編集時に原文と問題をテキストファイルでダウンロード可

3) 作成した問題に回答する機能

- 「範囲指定→ドラッグ」で回答可
- 選択肢のクリックで選択肢を黄色でハイライト

4) 画面から穴開け箇所に問題を判定し正解を表示する機能。

05 設定画面例・作成問題例

CLICK

CLICK

利用法のポイントが書いてありますのでCLICKして見てください

文系の学術系語彙強化の設定例

CLICK

CLICK

文法力（助詞・助動詞）強化の設定例

CLICK

CLICK

外来語強化の設定例

CLICK

CLICK

日本語能力試験のN2漢字対策の設定例

CLICK

CLICK

読解練習の設定例

CLICK

CLICK

06 フィードバック・今後の課題

(よい点)

- 「文脈の流れの中で適切な語や文型が定まるプロセス」を学習者が繰り返し体験できる
- ゲーム感覚→動機づけ向上→学習時間増加→学習促進 (課題)
- 学習者・教師に使いやすいプリセット画面の設定
- 漢字語へのひらがな応答可など、適語法での自動採点ができれば、なおよい (いまは正語法のみ)
- 自動付加のふりがなに誤りが多い
- 文章貼り付け画面への下線付加機能がほしい (試験前の学習のため)
- 語彙リスト作成にも使えるが、異なり語を1回のみ提示する機能やリストのダウンロード機能がほしい
- テストの妥当性、信頼性について、条件を変えて検証
- *ほかにもいろいろあるはず →試用を続けて改善

07 参考文献：予稿集をご覧ください

付記：本研究は科研費基盤研究B（課題番号25284096および19H01270、研究代表者：渡部倫子）の助成を受けた。